

総合2025 気づきの先はいつも晴れ ～心にかかる霧を晴らそう～

第4回 5月8日(木)13:00～14:30  
映像の世紀バタフライエフェクトは  
こうして生まれる



寺園慎一氏

(NHK 映像の世紀バタフライエフェクト プロデューサー)

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

1982年NHK入局。2024年NHKを定年退職。42年間にわたり、主にドキュメンタリー番組を制作してきた。現在、映像制作会社・PlanDに所属し、外部プロデューサーとして引き続き「映像の世紀バタフライエフェクト」を担当している。「映像の世紀バタフライエフェクト」は、2022年第70回菊池寛賞を、第60回ギャラクシー賞特別賞を受賞。これまでに制作した主な番組は、「ハーバード白熱教室」NHKスペシャル「世紀を越えて」「君が僕の息子について教えてくれたこと」「東京リボーン」「東京リボーン」「AIでよみがえる美空ひばり」「東京ブラックホール」「映像記録・関東大震災」「山口一郎・うつと生きる」など。

<担当スタッフより>

今回の講演では、NHK「映像の世紀バタフライエフェクト」のプロデューサーの寺園慎一さんをお招きします。寺園さんは、歴史を学ぶ中で生まれた「気づき」が自身の人生や価値観にどのような影響を与えたのか、そしてなぜ「映像」という手段を通して歴史を伝えようと考えたのか、ご自身の経験とともに語ってくださいます。また、番組制作の過程で向き合ってきた憎しみや悲しみの歴史をどう受け止めてきたのかについてもお話しいたします。世界情勢が不安定さを増す今、戦争や人権をめぐる問題は過去の出来事ではなく、今を生きる私たちにも関わる“現在進行形”の課題です。そんな時代だからこそ、過去の出来事を「映像」として立ち上げらせ、物語として紡ぐ意味について、改めて一緒に考えられたらと思います。講演を通して、受講生が自らの中にある「違和感」に耳を澄ませ、それを言葉にし、社会への問いへとつなげていくきっかけとなれば嬉しく思います。